2013年8月5日

各 位

(一社) 建設コンサルタンツ協会 近畿支部 維持管理研究委員会 委員長 本下 稔

維持管理研究委員会 中間報告会開催のお知らせ

維持管理への新しい対応(点検・補修・補強)

した。その結果、50年以上を経過したストックにも老朽化がみられるようになり、社会経済状況の変化と財政的に厳しい条件下で、国力を維持していくためには、まだまだ不足する社会資本の整備ももちろんですが、現存する社会資本の効果的な運用・維持管理が極めて重要となっています。近年、国土交通省をはじめ、地方自治体等でも、計画的な維持管理を目的としたアセットマネジメントの導入に積極的に取り組んでいます。しかしながら、アセットマネジメントは幅広い概念であり、維持管理、補修・補強、会計、事後評価などを包含するとはいえ、基本となるのは現場での維持管理です。また、アセットマネジメントを全て網羅するためには多くの要素技術の開発が必要となります。その実現に向けて各維持管理機関が精力的に活動をしていますが、予算、人員、体制、データ不足などの課題があることも事実です。一方、環境や防災の観点から

これまでの我が国の社会資本整備は、不足する社会資本を効率的に建設するために構築・運用されてきま

以上,このような背景から、コンサルタントとして、維持管理に対して今後取り組まなければならない課題を施設管理者と共同で抽出し、環境やエコロジー、防災などのより幅広い視点からの議論を行い、施設管理者に役立てて頂ける基礎資料を作成すると共に、維持管理技術の向上に寄与できる成果を目指していくことを目的として、平成22年4月より、"公共土木施設の維持管理に関する研究委員会"が発足し、主に施設管理者側のニーズに沿った形での成果、すなわち、補修・補強設計マニュアル(案)補修・補強工法選定資料、補修・補強に関する標準歩掛作成などを提供してきました。これで施設管理者側のニーズに応える形は一段落したと考え、その次の展開、すなわち、アセットマネジメントの更なる普及(会計・便益など)、長寿命化修繕計画における仮定条件の妥当性検証などに主眼をおいて、維持管理研究委員会」が2年間の予定で発足・活動しております。この度、中間報告会を下記のとおり開催することになりました。今後の維持管理業務の増加やアセットマネジメントの普及など、建設コンサルタント業務に与える影響は大であります。本報告会では、施設管理者の視点・ニーズおよび産・官・学の共同の可能性も踏まえて、建設コンサルタントとして維持管理に関する新しい技術を社会に提供していくことを目的としており、有意義な内容となっております。皆様のご参加をお願いいたします。

記

1. 主 催:一般社団法人建設コンサルタンツ協会 近畿支部

みた維持管理の考え方も今後は重要になってきています。

2. 開催日時: 2013年9月12日 (木) 9:30~15:10

3. 開催場所: 大阪科学技術センター 8 F・大ホール (〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4)

地下鉄四つ橋線・・・「本町」駅下車28番出口より北へ徒歩3分

Tel.06-6443-5324, URL http://ostec.or.jp/pln/map.html

4. 定 員:約300名

5. 配付資料: あり (ppt 出力)

6. 会 費:無 料

7. プログラム:

・・・各発表の最後に質疑応答の時間を設けます。

司会進行 河原 幸弘(道路分科会幹事)

			120011	1 4//1.	1 32 (127)
(1)	開会挨拶	9:30~ 9:40		本下	稔 (委員長)
(2)	道路分科会報告1				
	新しい橋梁モニタリング手法	9:40~10:00		八尾	英明 (オオバ)
	劣化曲線の妥当性検証	10:00~10:20		谷口	潤 (協和設計)
	道路トンネルの維持管理	10:20~10:40		河原	幸弘(エイト日本技術開発)
休憩					
(3)	道路のり面分科会報告				
	維持管理マップWG	13:20~13:40		山崎	博 (かんこう)
	補修・復旧WG	13:40~14:00		西岡	孝尚(協和設計)
(4)	河川分科会報告				
	護岸WG	14:00~14:20		藤本	昌己(協和設計)
	樋門・水門WG	14:20~14:40		大瀧	諭(日本工営)
(5)	総括と今後の予定	14:40~14:55		河原	幸弘(道路分科会幹事)
(6)	質疑応答	14:55~15:00		河原	幸弘(道路分科会幹事)
(7)	閉会挨拶	15:00~15:10		久後	雅治 (参与)

8. 参加申込み: 委員会報告会においては、事前の参加申し込みを必要としませんので、聴講希望の方は、 直接会場へお越しください。

9. 交通の案内



※ 本報告会は、第46回研究発表会と同時開催のため、研究発表会のプログラムに含まれます。 よって、CPDプログラム番号は 201307230001 であり、単位は聴講時間(h)×1単位で 自己申請となります。